



(縁・円・援)

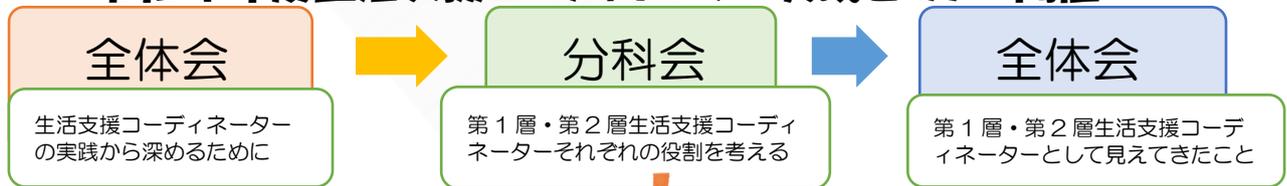
# 兵庫えんだより

このニュースレターは、市町社協の生活支援コーディネーター、住民等が創意工夫しながら行われている生活支援、地域活動をお伝えするために発行いたします。

## ～第1層CO、第2層CO分かれて学んでみた～

令和4年11月29日に生活支援コーディネーター実践セミナーを開催しました。今年度の実践セミナーは、第1層COと第2層COが分かれて学び合いました。今までは、主に第2層COの活動に焦点を当てていましたが、「誰もが孤立しない豊かな地域」を目指して、第1層、第2層、それぞれの役割を確認し合うために、そして、互いに高め合うために企画いたしました。

### 令和4年度生活支援コーディネーター実践セミナー開催



1層分科会 (25名)



2層分科会 (34名)

テーマ：「第1層COの学びの課題を見出す」  
 登壇者：①川西市福祉部介護保険課 細海里恵氏 (1層Co.)  
 ②淡路市社会福祉協議会 岩城和志氏  
 ③三田市社会福祉協議会 畑清美氏  
 進行：◎兵庫県立大学 准教授 竹端寛氏

テーマ：「地域のさまざまな協議の場で大切にしたいこと」  
 登壇者：①豊岡市社会福祉協議会 渋谷将司氏 (2層Co.)  
 ②芦屋市社会福祉協議会 池原恵子氏  
 ③明石市社会福祉協議会 山岡和希氏  
 進行：◎兵庫県社会福祉協議会 地域福祉部長 福本良忠

- ◎一年目は何をしようかわからず、3年目になり、何度も話し合い、わからないところは聞くことで、2層COと同じビジョンを持てるようになった。1層は行政への働きかけ、2層は地域で輝くこと。(細海氏)
- ◎最初は、全自治会のアセスメントを行いイメージの共有をした。「いつ、どこで、誰に、何を」働きかけるかは各地域ごとに方法がある。地域包括ケアシステムの図は「病気や介護になったら」であるが「病気や介護になっても」であるべき。この中につなぎがなければ達成はできない。1層COは広域であり、行政が求めるほどにすぐに結果が出るものではない。(岩城氏)
- ◎1層COは2層COをまとめないといけないと思っていないか。COは、中間的支援機能であり、1層も2層も広域か狭域の違いで同じ。地域分析は2層が行い、気が付いたところに1層が入る。地域はいろいろな層の人がいないと解決できない。(畑氏)

- ◎既定の協議体は25か所あり、まち協の立ち上げ支援を一緒に行う。一方では、形にこだわらない地域の楽しい、面白い活動に関わることで、話し合いが始まることを柔軟な基準で協議体としている。(渋谷氏)
- ◎協議の場になりそうな芽を探している。市内の清掃活動をしている中学生31名のグループに密着してみると、地域の世話役が高齢者となつなぎ役になっていた。すでにあつたものにつなぐ人がいれば、何とかしないといけないという協議の場が生まれる。(池原氏)
- ◎使っていない農地で男性のスペースをつくると学校に行けなくなった中学生がお手伝いに来る。住民が学び合いから共通認識が持てる。すると、住民自ら動き出し、何度も話し合いを重ね活動へと変わり、「ここに居場所をつくりたい」と語るようになった。(山岡氏)

【発行元】(令和5年1月20日発行)  
 〒651-0062 神戸市中央区坂口通2丁目1番1号  
 兵庫県社会福祉協議会 地域福祉部  
 TEL 078-242-4634 FAX 078-242-0297  
 E-Mail: chiiki-2@hyogo-wel.or.jp (担当：小山・永坂)



# それぞれの分科会での気づき

## 第1層分科会

えっ！これは2層の動き？  
1層の活動に置き換えてみると、あっそうか！



今までは一緒にや  
っていても、行政  
につなぐことがで  
きていなかった。

やっていることが  
2層寄りだった。



1層の言葉に置き換  
えて1層としての役  
割に気がついた。

**POINT**

- ◎2層 Co の視点に立っていないかな。
- ◎市町全体のアセスメントをしているか。
- ◎1層 Co は、行政に伝え、政策につながるように働きかけること。

### 1層 Co としての役割は？

- ◎いろいろな協議の場の情報を他の場にフィードバックする
- ◎2層との協議を1層の言葉にして行政につなぐ
- ◎言語化→地域福祉計画→地域福祉の政策化すること

手引き P8 の CO の動き方の基本（準備期・協働期・展開期）を第2層の視点から第1層の視点に置き換えて協議してきた。第1層は行政に近い、もしくは行政であることから2層の課題をデータで行政に伝えることができる。そして、2層との連携化、2層の動きやすい環境、話しやすい環境をつくることについて話し合った。1層の役割を言語化し、地域の課題を施策化、予算化しつつ地域福祉計画に反映していく。

## 第2層分科会

協議体っているん？  
必要な時に話し合う体制はいるけど。

**POINT**



協議体って  
いるん？

- ・協議の場は必要だが、形にはこだわらない。住民の話し合いの場に入っていき、うまくいかなければ頼ってみよう。
- ・活動をリフレクション（省察・観察する）ことが大事。
- ・話しやすい雰囲気、一人でも多くの人が関心を持って入れるようにしてみよう。
- ・協議の場…地域に入り、一緒に考えることが大切



住民が自分たちのまちを  
よくするために、楽しく  
関心を持ってもらえるよ  
うに一緒に考える。



事務所にいて入  
る情報はない。

### こんな居場所に行ってみよう！

- ◎お地藏さんの前の集まり
- ◎スクールガードのおっちゃん、おばちゃんの集まり
- ◎店の前の男性ばかりの将棋の場等



協議体は形ではなく、協議の場はいろいろとある。また、活動と協議が分離していないか。協議は作ろうとすると上から目線で住民はお客様になりがち。活動主体を紡いでいく、住民と一緒に汗をかく。キーワードはワーカーも住民も楽しく活動する。そして、やりたいことは住民が決める。そのために生活支援 CO は地域を知らないと始まらない。

### 【編集後記】

今回の研修は、特に1層 Co の役割について考えるために分科会方式にしました。この事業が始まってから「1層が何をすればよいかわからない！」と悲壮な声を聞いてきました。ようやく、動き出した感が否めないかもしれませんが、大きな一歩になるように、これからも頑張ります。そして、1層が2層と住民と力を合わせて、地域の目標に向かって進んでいけるように。

### 《お知らせ》

- 「生活支援 CO フォロアップセミナー」開催  
3月 3日（金） 10:30~16:30
- 「えん学び塾」  
1月 24日（火） 13:30~14:30
- 「えんがわナビ」  
1月 24日（火） 15:00~17:00